

株式会社ソフトフロント

2009年3月期通期決算説明資料

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しのみに全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

2009年3月期通期業績の概要

取締役 財務・管理統括担当 佐藤健太郎

■ 2009年3月期通期決算の状況

(単位：百万円)

	2008年3月期 通期	2009年3月期 通期	増減
売上高	674	764	90
売上原価	293	523	230
売上総利益	381	240	△ 140
販売費及び一般管理費	553	444	△ 109
営業損益	△ 172	△ 203	△ 31
経常損益	△ 171	△ 204	△ 32
当期純損益	△ 338	△ 205	132

NGN(次世代基幹ネットワーク)インフラの拡大に伴い受託開発を中心に売上高が増加するも、昨年秋以降の経済環境の悪化の影響を受け、予定を下回る売上高にとどまった。売上高に占める受託開発の比率が高まり、売上原価が増加したことから売上総利益が減少し、経費削減につとめ販売管理費を減少させたものの、損失を計上。

昨年度は投資有価証券評価損等により特別損失186百万円を計上していたが今期は発生せず、当期純損失額は減少。

■売上状況

(単位：百万円)

	売上高		受注高		受注残	
	2008年3月期 通期	2009年3月期 通期	2008年3月期 通期	2009年3月期 通期	2008年3月期 通期	2009年3月期 通期
受託開発	388	616	385	607	26	17
ソフトウェア販売	286	148	266	124	40	16
合計	674	764	651	731	66	33

ソフトウェア販売は前期に単年度で契約されたソフトウェアがあること及び経済環境の悪化から更新時に必要最低限の機能に縮小するケースがあったことなどから、昨年に比べ大きく減少。2009年より徐々にSIP搭載機器が流通し始めてきているが、2009年3月末時点では、ロイヤリティ収入は未だ僅少。

一方、NGNインフラが確実に広まってきているため、開発需要が多く、受託開発が昨年に比べ大きく増加。次年度以降の製品投入に向け、業界自体が確実に進捗していると考えられる。

■業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
中間期	370	△ 98	△ 98	△ 100
通期	880	5	5	0

<売上高>

- NGNのインフラが拡大期に入り、NGNサービスの充実が見込まれるため、以下の施策を中心に前期を上回る880百万円の売上高を見込む。
- 2009年2月に実施したNTTグループとの業務・資本提携を機に、NGN対応SIP－SDKの提供サービスを開始。
SIP/NGN関連市場をNTTグループと共に拡大させることで、収益拡大を図る。
- 昨年度MFP(複合機)の分野で成果を上げた、細分化したターゲット市場へのアプローチを引き続き実施し、MFP分野の伸長と新たなターゲット市場獲得を図る。

<利益>

- コスト管理を徹底し、当期純損益ベースでのブレイクイーブンを見込む。

今後の展開

代表取締役社長 阪口克彦

中期ビジョン

経済環境の悪化に伴い、当初予測から比べ時期の遅れがみられるものの、NGNを中心としたユビキタス社会の進展は着実に進んでいます。

したがって、

**「発展するユビキタス市場【NGN、IMS、SIP関連市場】において、
当社のSIP技術をデファクトスタンダードにし、
ライセンスビジネスを成功させる」**

という当社の中期ビジョンは今後も変わりなく継続してまいります。

SIP関連市場動向

ベンダーが提供するSIP技術の市場は
当初想定より拡大の速度が遅れているものの確実に成長しています。

<2008年4月時点、市場予測>

	2006年	2007年	2008年見込	2009年予測	2010年予測	—
金額(百万円)	1,850	2,250	3,120	5,100	9,800	—
前年比(%)	142.3	121.6	138.6	163.5	192.2	—

富士経済社「エンベデッドシステムマーケット2008」より

<2009年4月時点、市場予測>

	2006年	2007年	2008年	2009年見込	2010年予測	2011年予測
金額(百万円)	1,850	2,250	2,300	2,900	4,000	6,100
前年比(%)	142.3	121.6	102.2	126.1	137.9	152.5

富士経済社「エンベデッドシステムマーケット2009」より

当社シェア

成熟していない市場でシェアの変動が激しい中、市場草創期から一貫してトップシェアを維持しています。市場の拡大とともに競争の激化が見込まれますが、今後も積極的にシェアを獲得していきます。

＜SIPベンダー市場シェア推移＞

【単位:%】

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年見込
ソフトフロント	36.9	44.3	37.8	31.5	34.5
R社	13.1	10.8	10.2	14.3	15.9
I社	8.5	8.1	7.6	8.7	8.6
O社	—	—	31.1	30.4	27.6
その他	41.5	36.8	13.3	15.0	13.4

富士経済社「エンベデッドシステムマーケット2007、2008、2009」より

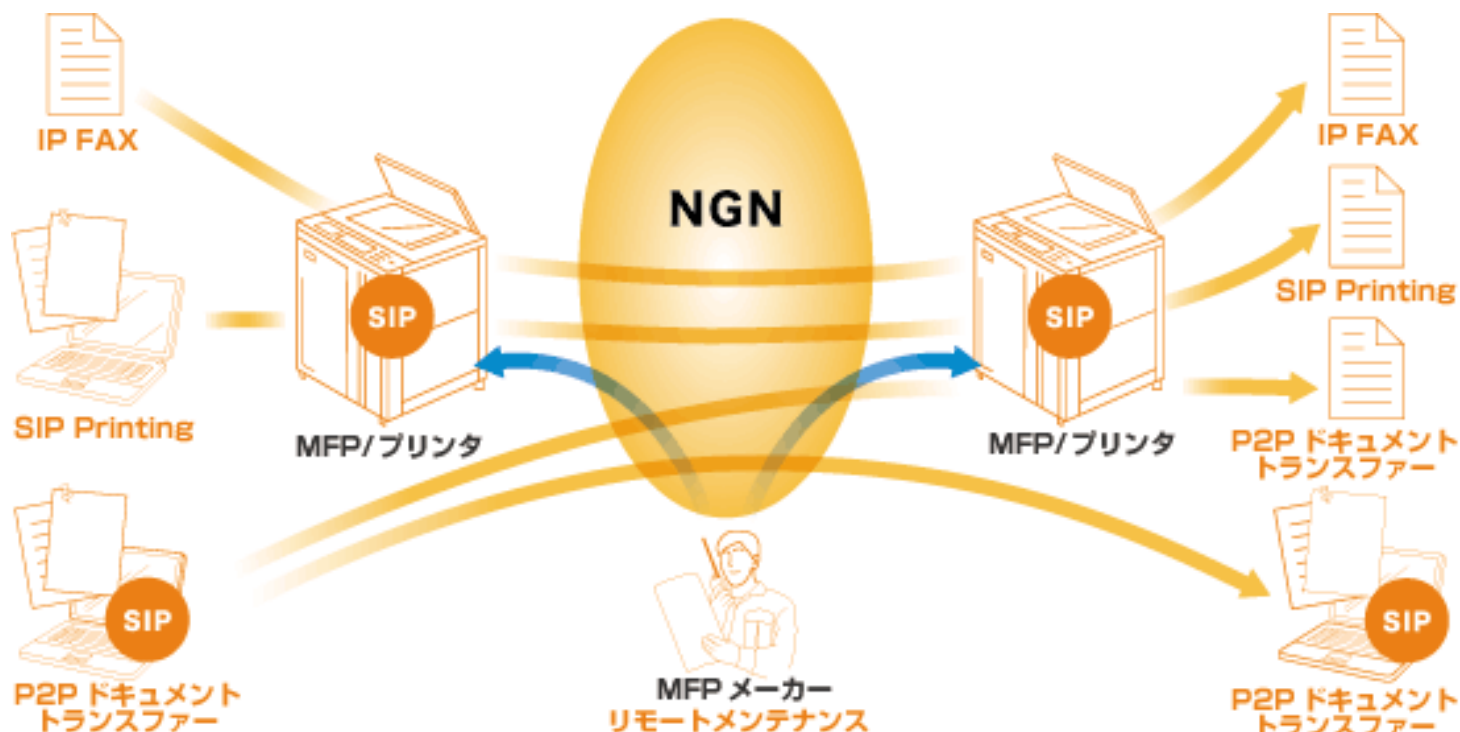
重点施策 1

NGNを活用したアプリケーション開発を容易にするソフトウェア開発キット、
NGN対応SIP-SDKを無償提供(※開発用途に限り)



NGN対応のWindowsおよびWebアプリケーションを短期間・低コストで容易に開発することができるキットを、NTTグループとの業務提携を通じて提供することで、NGN上のサービス提供が拡大し、人々のより良いコミュニケーション環境を創ることへとつながります。この事業を通じSIP/NGN関連市場をNTTグループと共に拡大していくことで、当社の収益拡大へとつなげてまいります。

重点施策 2



昨年度より重点的に取り組んだ細分化したターゲット市場へのアプローチは、オフィス内通信のIP化に伴いSIPへのニーズが顕在化してきた**MFP(複合機)分野で効果**をあげ、主要なMFPメーカー各社様との取引開始につながりました。

今年度は、当該分野の営業活動をさらに伸ばしていくとともに、これから需要が顕在化するターゲット市場に対し、同様のアプローチで更なる成果をあげてまいります。

参考資料

企業理念（＝私たちの存在意義）

技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり豊かな社会を実現すること

※ 社会環境の変化： ユビキタスネットワーク社会の実現

※ SIPを活用した end-to-end（人と人、機器と機器、人と機器）のネットワーク環境を実現

ビジョン

- ・ 当社SIP技術をデファクトスタンダードにする
- ・ ライセンスビジネスの成功

- ・ 社名 株式会社ソフトフロント
- ・ 上場市場 大阪証券取引所「ヘラクレス」（2002年9月10日上場）
- ・ 証券コード 2321
- ・ 設立 1997年4月18日
- ・ 所在地 東京本社 東京都港区赤坂4丁目2-19 赤坂SHASTA・EAST 3F
札幌本社 札幌市中央区北9条西15丁目 札幌ITフロントビル 3F
- ・ 代表取締役 社長 阪口克彦
- ・ 従業員数 71名（2009年4月1日現在）
- ・ 資本金 27億9,247万円（2009年4月1日現在）
- ・ 決算月 3月
- ・ 事業内容 **SIP、VoIP技術**を核としたソフト開発環境の提供
および 技術支援、関連する受託開発・コンサルティング
- ・ URL www.softfront.co.jp

ソフトフロントが得意とするSIP技術

||

ユビキタスネットワーク社会を実現する基盤技術

ユビキタスネットワーク社会は、国連の下部組織であるITU-T(国際電気通信連合)が標準化を進めるNGN(次世代ネットワーク構想)によってその実現が後押しされており、**NGNの基盤技術にSIPが採択**されました。

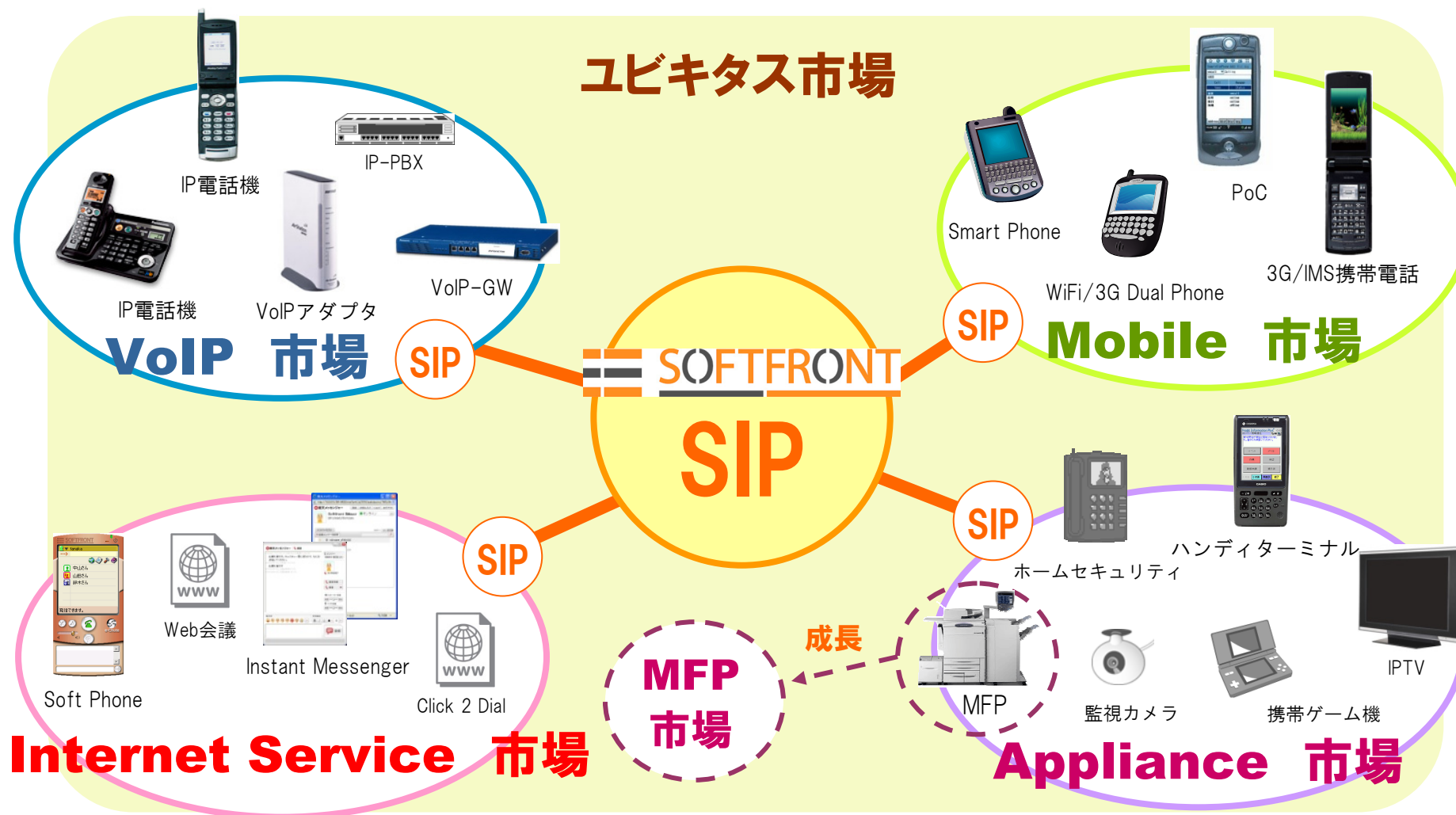
ユビキタスネットワーク社会全体

||

ソフトフロントの事業領域

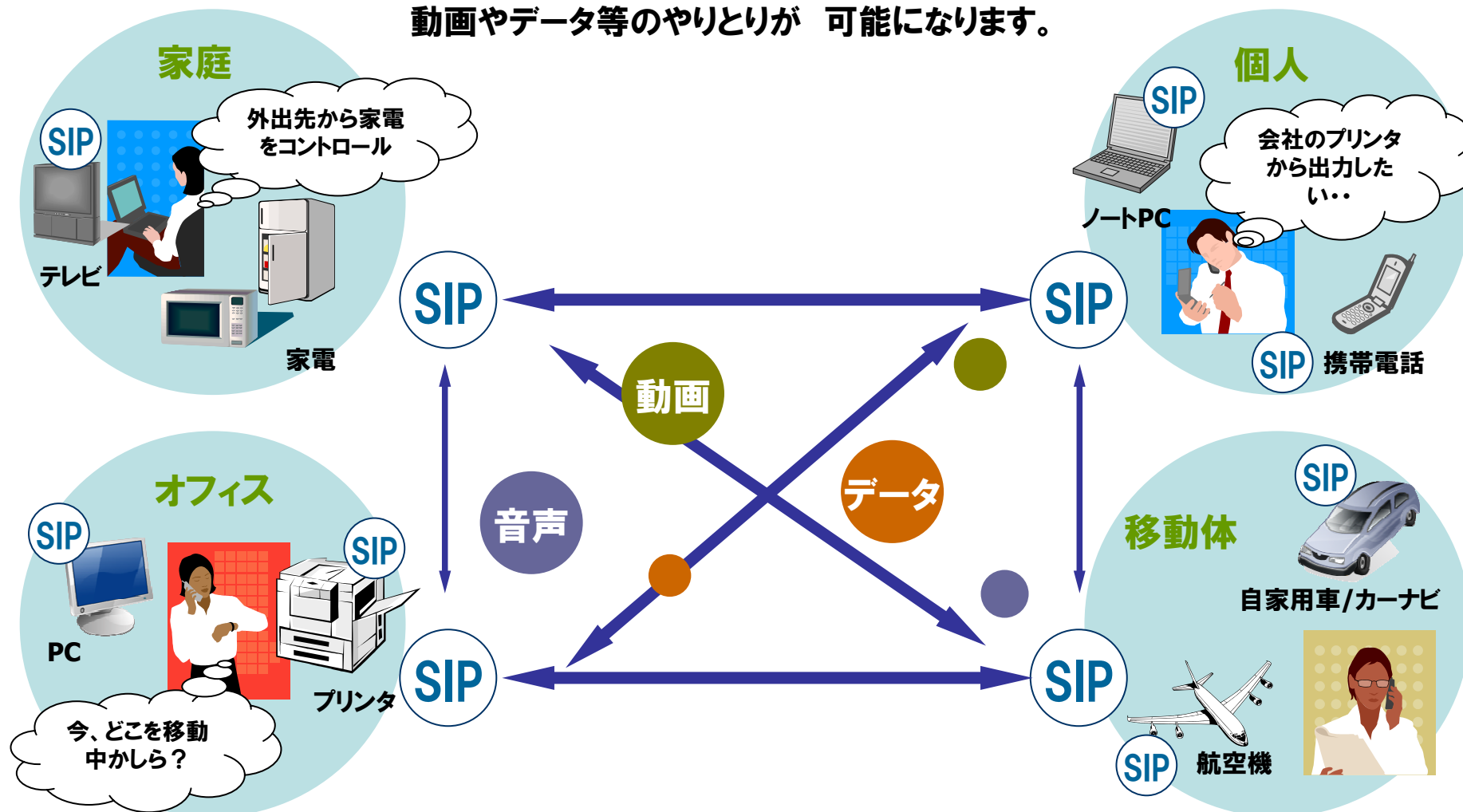
ユビキタスネットワーク社会における端末や機器の市場は2010年に7.8兆円になるといわれています。
(総務省「ユビキタスネットワーク技術の将来展望に関する調査研究会」報告より)

ユビキタス市場に参入する様々な企業に向けて、SIP関連製品・トータルソリューションを提供

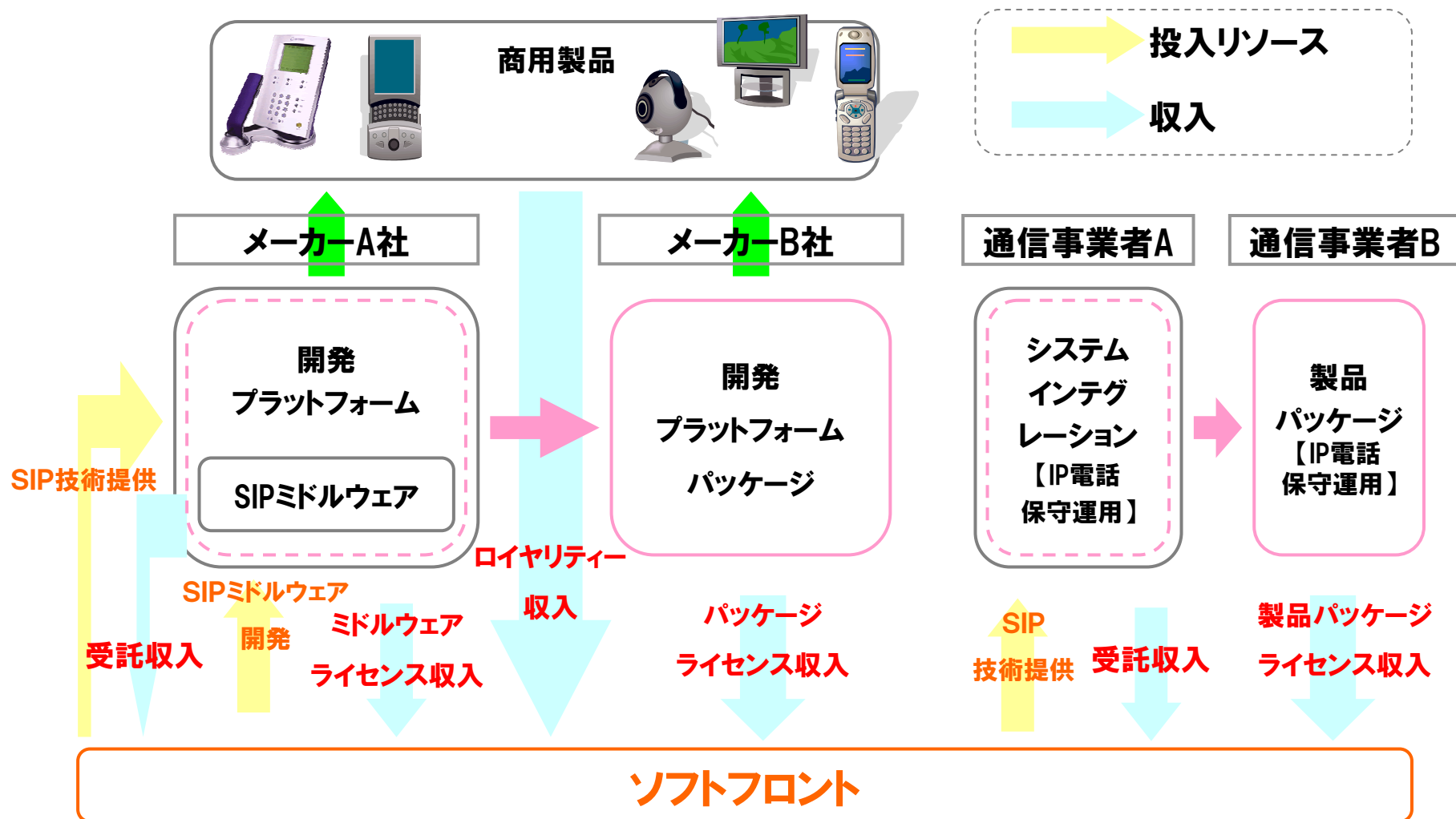


ユビキタスネットワーク社会では「SIP」を使い「いつでも、どこでも、誰でも、何でも」繋がる便利な社会が実現されます。

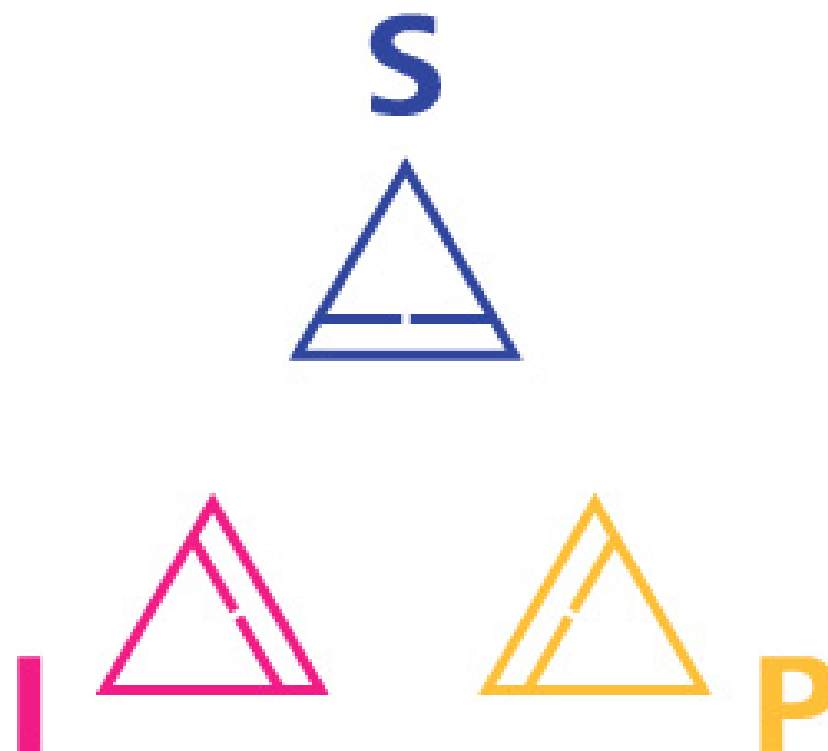
人から人、人から機器、機器から機器へ、音声はもちろん、動画やデータ等のやりとりが可能になります。



多様な収益モデルで収入の安定化を図っています



SIP connects the future



**ソフトフロントは SIP 技術を基に
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します**